

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	大阪国際大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	オオサカコクサイダイガク
	大学等名1(代表大学等)学校所在地	大阪府
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	大学等名2(連携大学等)	
	大学等名2(連携大学等)学校所在地	
	大学等名2(連携大学等)学校種別	
	科目名	インターンシップ1・2
	学部・研究科等名	グローバルビジネス学部、人間科学部、国際教養学部
	担当教職員名・役職	船越 達也准教授 他
要素①	受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数	116
	受入企業等数	111
	受入企業等名	<a href="https://www.oiu.ac.jp/shinro/employment/internship.html">https://www.oiu.ac.jp/shinro/employment/internship.html</a>
	インターンシップの分類	2.有給インターンシップ 6.低学年(大学1年次～2年次程度)からのインターンシップ 8.大企業・グローバル企業でのインターンシップ 9.中小企業でのインターンシップ 10.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ
	上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	
	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	接客体験、営業同行、企画編集、事務補助、グループワーク 等
	要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。
2-2.該当するインターンシップの内容		2.当該インターンシップは、キャリア教育科目として実施している 6.当該インターンシップは、選択科目として実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容(記述欄)		
2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)		2～3年次
2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)		2単位
2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)		2～3年次を対象に5月に事前研修を6コマ行い、夏季休暇中等の10日間程度の研修に参加する。また、10月に事後報告会を行い、参加の事例を発表する。実際の業務を経験することで、就職活動にあたって自分の適性や希望にマッチしているかどうかを見極めたり、理想と現実のギャップを確認したりできるほか、自己成長のきっかけにもなるプログラム作りをしている。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用法等を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 4.その他
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容(記述欄)	学内で報告会を行っている。
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している 3.その他

	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	期間中に問題が生じた場合、必要に応じて実習先と大学側の面談を行う。
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	全6回の事前研修を通して、心構えや研修先の探し方、ビジネスマナー(身だしなみ、挨拶、電話の掛け方、言葉遣い等)やお礼状の書き方、研修日誌の書き方を学ぶ。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	各学科の代表者が研修の体験を発表し、学びを共有する。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	研修前に数回教職員が学生と面談を重ねる。また、研修中は教職員が研修先を訪れ、学生の様子を見て必要に応じて指導を行う。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている 4.その他
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	参加意欲、責任感、適応性等に対して5段階の評価シートを作成し、実習先に評価を記入・返送を依頼している。
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	参加意欲、責任感、適応性等に対して5段階の評価シートを作成し、実習先に評価を記入・返送を依頼している。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している 3.複数の企業等においてインターンシップを実施することにより、計5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	10日間
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	10日間(うちインターンシップ実施期間10日)
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容(記述欄)	
	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	原則10日間以上、実習先の事情により5～9日間の場合もある。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている 4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	参加意欲、責任感、適応性等に対して5段階の評価シートを作成し、実習先に評価を記入・返送を依頼している。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	別途提出済み
問い合わせ先	大学等名	大阪国際大学
	担当部署名	就職部
	担当者役職名	
	担当者氏名	岡田 麻衣子
	電話番号	06-6907-4321
	メールアドレス	career-m@oiu.ac.jp